

Fusyo Collaboration letter



5月7日 No.7 文責 廣田 秀俊

つながりを深めよう！ 四校園子ども集会

「相手のことを知り、仲を深める」。四校園子ども集会の目標が中学校運営委員から提案されました。附中グラウンドに集まった四校園全員に向けたメッセージです。

中学校生活委員からも次のようなメッセージが届きます。

「合い言葉～はじめの一步」あいさつについて語ってくれました。

「は:はきはきと、じ:自分から、め:目を見て。ここにいるみんなが仲間です。あいさつと笑顔でつながっていきましょう」

中学生の二つの大きなメッセージが、みんなの気持ちを一つにしてくれました。



子ども集会スタートは、小学校運営委員から発表されました。50班近くに分かれた各班の6年生がリーダーとなって遊びを提案していきます。

“だるまさんがころんだ”“いろはにこんぺいとう”“リーダーさがし”グラウンドいっぱいになって、各班で四校園の仲間と交流をしていきました。

運営委員から「たくさん笑顔がみられてよかったです」という感想が届き、短い時間のなかでも、園児・児童・生徒が満面の笑顔で活動する姿が印象的でした。

グラウンドで全員で遊ぶ企画も発表され、四校園みんなで“じゃんけん列車”を行い、班のメンバー以外の仲間ともふれあうことができました。

「各班のメンバーがたくさんリードしてくれて最高だったこと」

「小学校が考えたチーム遊びを喜んでくれたこと」

「普段はなかなかかかわれない人たちとかかわれたこと」

感想を聞くなかでも、四校園子ども集会の時間が、とても貴重なひとときだったことを物語っていました。



最後に中学校運営委員からこんな言葉が届いてきました。

「あいさつをされたら明るい声で返して、四校園のつながりを深めていきましょう」

これからも四校園でいろんなかたちの交流ができるよう、連携していきたいと思っています。

